

| | |
|------|--|
| | 心電計 |
| | 要求仕様 |
| 1 | 検査対象 |
| 1-1 | 安静時・負荷後の標準12誘導心電図が記録できること。 |
| 1-2 | マスタステップ検査が行えること |
| 1-3 | RR間隔測定検査が出来ること。 |
| 1-4 | 2chの外部信号入力記録が行えること。 |
| 2 | 心電図入力部 |
| 2-1 | 入力サンプリングは16,000サンプル/秒以上であること。 |
| 2-2 | 周波数特性が最大150Hz以上であること。 |
| 2-3 | 弁別比は105dB以上であること。 |
| 3 | 表示部 |
| 3-1 | 液晶カラーディスプレイであること。 |
| 3-2 | ディスプレイは対角8インチ以上であること。 |
| 3-3 | ディスプレイ解像度は、800×480ドット以上であること。 |
| 3-4 | 誘導心電図波形を同時に5秒以上表示できること。 |
| 3-5 | ディスプレイの視認性を確保するために、ディスプレイ確度の調整が行えること。 |
| 4 | ファイル保存 |
| 4-1 | 記録した心電図データを、記憶メディアにデータ保存ができること。 |
| 4-2 | 本体へ内蔵可能なメモリーカードまたはUSBメモリのデータ保存が可能であること。 |
| 4-3 | 本体内部メモリへのデータ保存が可能であること。 |
| 6 | 記録部 |
| 6-1 | 記録紙幅は210mm以上であること。 |
| 6-2 | 折り畳み記録紙を内蔵可能であること。 |
| 6-3 | 無地の記録紙を使用し、波形部分にだけグリッド（方眼）付で印字できること。 |
| 6-4 | 最大12chの記録が可能であること。 |
| 6-5 | 記録速度は5/10/12.5/25/50（mm/s）より選択可能であること。 |
| 7 | バッテリー |
| 7-1 | 満充電時で30分以上の稼働ができるバッテリーを内蔵していること |
| 8 | 安静時12誘導検査 |
| 8-1 | 10秒～24秒の自動記録が可能であること。 |
| 8-2 | 自動記録により収集された心電図波形の自動解析が可能であること。 |
| 8-3 | 記録された心電図データは、自動的に保存・送信が可能であること。 |
| 8-4 | オートスタート機能を有すること。 |
| 8-5 | 本体に一時保存したデータを用い、時間を選んで12誘導心電図を記録できること。 |
| 8-6 | 標準12誘導心電図のデータをもとに右側胸部（V3R～V5R）および背部（V7～V9）の6誘導を演算により導出できること。 |
| 8-7 | 12誘導心電図をもとに導出した右側胸部誘導（V3R～V5R）・背部（V7～V9）の追加6誘導を含む心電図波形を解析し、心筋の虚血状態に関しての解析が行えること。 |
| 8-8 | 虚血時に認められる心電図変化を捉えやすくするために、導出誘導を含めた各誘導のST値をグラフで表示し、各誘導の心電計波形と対比表示したレポートを記録できること |
| 9 | リズム記録 |
| 9-1 | 最大3誘導 1 分間のリズム記録が可能であること。 |
| 9-2 | リズム記録のデータをファイルとして保存・送信が可能であること。 |
| 10 | 心電図自動解析 |
| 10-1 | 心電図波形の自動解析機能を有すること。 |
| 10-2 | 150件以上の解析所見数を有すること。 |
| 10-3 | Brugada型心電図に関連する解析所見を3種類以上有すること。 |
| 10-4 | 解析結果の補助資料として判読ガイドを出力可能であること。判読ガイドには、解析所見の特徴・鑑別すべき他所見とその波形例・イラスト付きの所見の概要説明が記載されること。 |
| 11 | マスタステップ検査 |
| 11-1 | ステップ音の出力が行えること |
| 11-2 | 性別・年齢・体重を入力した際にトリップ数を自動計算できること。 |
| 11-3 | 被検者に対し検査の説明を行うために、心電計画面上にマスタステップ台の昇降イメージが描画できること |
| 12 | 負荷後検査 |
| 12-1 | 設定した時間で自動的に心電図の自動記録がおこなえること。 |
| 12-2 | 負荷後自動記録の間に、自動で低速記録が行えること。 |
| 14 | 寸法・質量 |
| 14-1 | 質量は（バッテリー・記録紙を除いた状態）で5kg以下であること。 |
| 14-2 | 寸法は幅270mm以下、高さ155mm以下、奥行400mm以下であること。（ハンドルは除く） |
| 15 | その他 |
| 15-1 | 汎用性の高いUSBポートを1系統以上装備していること。 |
| 15-2 | 国際標準規格IECに適合していること。 |
| 15-3 | 可搬性を考慮し、本体にハンドルを装備していること |
| 15-4 | エラー発生時に画面で対処方法などを確認できるようにガイド機能を有する |